

岐南町立岐南中学校T O講習会

場 所 岐南中学校会議室

目 的 ①試合をするときに必要な「テーブル・オフィシャルズ（以下:T O）」の大切さを学ぶ
②担当するクルーが、責任と自信をもって任務を遂行できるようにする

対 象 岐南中学校女子バスケットボール部

内 容 T Oの心構え, 任務内容の確認

方 法 山口県バスケットボール協会資料「テーブルオフィシャルズマニュアル」にて講義研修
2020 ウィンターカップをモデルゲームとした1クォーター1クルーで映像研修
※クルー以外の選手はスコアシート記入の練習

<生徒の振り返り>

1. 難しいと感じたこと, 失敗をしてしまったこと

メインタイマー

- ・得点後にタイムアウトが請求されると, ①タイマーを止める, ②ブザーを鳴らす, ③60秒を計る, ④得点を入れる, と同時にやらないといけないことが多くなるので, 慌ててしまう。
- ・第4Q残り2分になった最初の, 得点後の停止が遅れてしまった。

24秒オペレーター

- ・リングに当たっているかどうかの確認が難しい(ギリギリで分からない場面)。
- ・リバウンドやルーズボールなど, 人が密集しているときに, ショットクロックを止めるのか進めるのかが曖昧になってしまう。
- ・攻撃と守備の入れ替えが連続して起きる時に, 慌ててしまう。
- ・違うと気付いた時の修正のタイミングが難しい。

スコアラージャー

- ・ファウルと得点が同時に発生(バスケットカウント)するときに, 誰のシュートで, 誰がファウルなのか, そのシュートがカウントなのかどうかを1人で確認することは難しい。隣で声を掛けてくれたので今日は何とかだった。
- ・今日はリプレイが流れるから良いけど, 本番は選手と審判を同時に確認しないといけないので, 難しい。

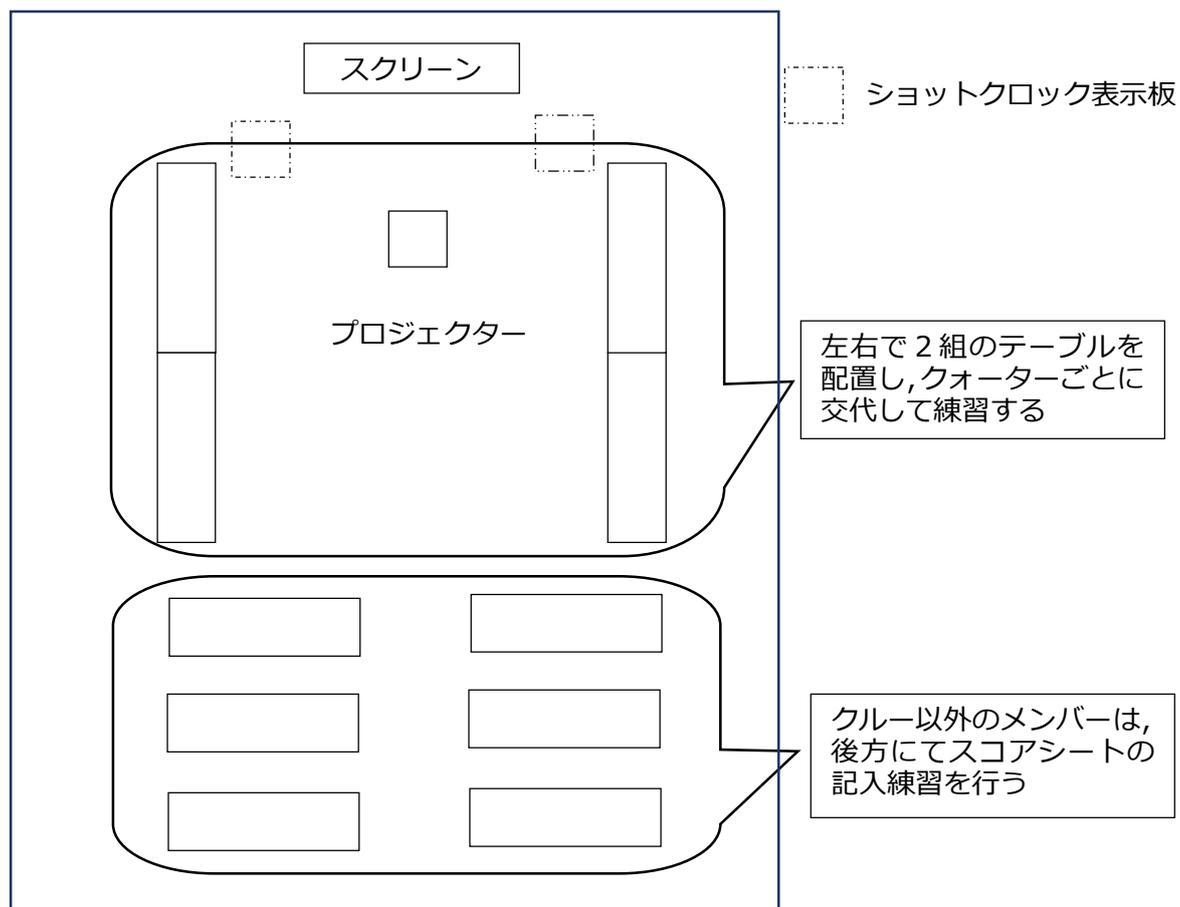
2. T.O.講習会をやってみて

- ・1回の誤差は少しだったとしても, それが積み重なることで(試合時間が増減するため)、本当は無いはずのプレーが生まれたり, あるはずのプレーが無くなったりしてしまうことが実感できた。T.O.が良ければ, 選手やチームも気持ちよく試合に臨めると思った。
- ・選手も審判もベンチも意識しないといけないので, 改めて大変だと思った。クルーの連携が取れていないと交代のタイミングなどが分からないので, いつでも連携が取れるように, 声を掛け合いたいと思った。本番では岐南に任せて良かったと思われるように, 責任をもってやりたい。

3. その他, 課題・改善点(顧問・指導者より)

- ・映像での講習だったので, 特にスローインの確認がリプレイ等で映らない場面が多く, タイムラグが生まれる。
- ・審判のシグナルやレポートを確認することができない。
- ・機材の数の問題があるが, コロナ感染対策の事も考えると2セット十分できる。
- ➡映像での研修には限界があるけれど, やり方を覚えたり, 経験を積んだりするという面では十分に効果がある。
- ➡T O講習会用に, ゲーム全体を抑えながらも, 審判のシグナルやレポートが分かるような動画を準備することができるとよいが, そこまでの動画を作成することは難しい。

資料 会場レイアウト



写真



講習会を実施いただいたことに寄せて

現在、新型コロナウイルスの影響は、まだまだ収束の目処はたっていません。これまでのような試合の機会が失われたり、他チームとの様々な交流が制限されたりしています。こんな時期だからこそ、選手として、チームとしてバスケットボールの勉強をすることに時間を使うことも大切ではないでしょうか。

T O委員会では、各チームで実践できる「自チームでのT O講習会」を紹介させていただこうと考えました。今回は、岐南町立岐南中学校のメンバーの皆さんに実践を紹介させていただきました。

「自チームでのT O講習会」について、実践してみたいというチームは、ぜひT O委員会までご連絡ください。準備からサポートさせていただきます。

今後とも、宜しくお願い致します。

T O委員会 清水 啓太